

南国市 女性防火クラブ連合会

高知県南国市女性防火クラブ連合会
会長 白山 早苗



南国市女性防火クラブ連合会は、現在16クラブ493名で活動を行っています。

家庭内で火を取り扱う機会が多い女性が、火災予防を習得し、防火思想の普及啓発を行うとともに、恒久的な明るい街づくり、家庭づくりを目指して活動を行っています。

こうした観点から「防火防災は顔の見える関係がとても重要である」と考え、連合会活動だけにとどまらず、自主防災組織や消防団、消防本部との連携を図り、消防出初式や水防訓練、年末警戒など各種訓練へ積極的に参加しています。

そして住宅用火災警報器の設置促進活動には、特に力を入れております。

これは南国市の設置率がまだ満足する結果となっていないために、多くの住民に対し、設置、点検、交換等の説明を行い、理解してもらうことで住宅火災での被害者軽減に繋げていけると信じて活動をしています。

また、将来必ず発生が予想されている南海トラ

フ大地震にも備えて、応急手当訓練や防災学習会、車中泊避難訓練、防災食作り、防火広報、防災センター視察など地震や災害時に迅速な行動や対応ができる訓練も行ってまいります。

これからも「自分たちの家庭は自分たちで守る」を合言葉に、自助、共助の信念に基づき、更なる知識や技術の向上のために、果敢に行動していく所存です。



足利市松田町一丁目 自主防災会

栃木県足利市松田町一丁目自主防災会
会長 岡部 宣男



松田町一丁目は、足利市北西部の山間部にある戸数158戸（人口およそ350人）の小さな集落で、山間を流れる松田川及びその支流に沿って集落が形成されているため、大雨の時には洪水・浸水、土砂災害、ため池の決壊などが心配されます。

住民は高齢化が進み機動的とは言えませんが、自治会活動に協力的です。地区内では令和元年台風19号で302ミリの降水量があり、冠水、土砂崩れなどの被害が多数発生しました。令和2年の自治会館の改修を契機に会館を一時避難場所とする緊急時避難体制づくりの機運が高まりました。

そこで、「①自治会館を緊急避難場所にすること」、「②町内の避難情報の伝達」、「③共助による避難の協力」を柱とする『松田町一丁目地区防災計画』を策定しました。

また、新たな防災リーダーと防災役員を組織し、年一度の緊急時電話連絡訓練を行うとともに、避難訓練や防災避難情報誌（『松一だより』）の発行を行っています。

防災活動は継続していくことが重要です。今後も「共助の精神・安全な避難・無理をしない」を合い言葉に、地域の安全・安心を守っていきたいと考えています。

